

約50年ぶりに鬼の像が返還

～観心寺で盗難された天邪鬼の複製物～



河内長野市内にある観心寺（永島全教住職）では、約50年前に盗難されて以来、所在不明であった天邪鬼の複製物（レプリカ）が発見、返還されましたのでお知らせします。

この天邪鬼は、大阪府指定文化財「観心寺禎本院中門」の梁に飾材として設置されていたものですが、現在、原物は同寺の霊宝館に保管、展示されています。

このたび返還された複製物は樹脂製で、原物と同じく高さ約29センチメートルです。河内長野市史（昭和48年刊行）には、禎本院中門に設置されていた様子が記録されています。その後、何者かによって盗難にあい、約50年もの間、所在不明となっていました。

今年になってネットオークションで発見され、購入した和歌山県在住の方より同寺に寄贈の申し出があり、9月14日（月）、約50年ぶりに同寺に戻されました。

天邪鬼は、人間の煩惱を表す妖怪の一つといわれ、本市が「鬼でまちおこし条例」を制定した、時を一にして返還されたことから、「いい鬼の日」となる11月2日（月）までに禎本院中門に再び設置される予定です。



71 禎本院中門

◀河内長野市史より（昭和48年以前の様子）

▼返還された天邪鬼の複製物（レプリカ）



【問合せ】河内長野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財保護課

電話：0721-53-1111